

「ナピンサ橋梁建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ナピンサ橋梁建設計画」のための、当館とセビリヤ・ドン・ボスコ自治会による贈与契約署名式が行なわれました。

供与額： 9,678,240円

贈与契約締結日： 2016年3月18日

モロナ・サンティアゴ県モロナ市セビリヤ・ドン・ボスコ自治会サン・ペドロ・デ・チュウイツ地区を流れるナピンサ川は、同自治会中心部より南方約10km地点に位置し、同自治会中心部と同地区を結ぶ交通の要所です。当地域住民は、農産物の輸送、人及び家畜の移動、通学、通院などで当サイトを利用して同自治会中心部並びにマカス市方面に連絡するため、また、サン・ルイス地区の農家は、農地や牧場へ連絡するため、日常生活において必要不可欠な交通経路となっています。現在、当サイトに橋梁は無く、全ての車両、人や家畜は川の中を通らざるを得ません。乾期には水深が30cm程度であるため、通行に関して問題はありませんが、雨期の12月から3月頃は水深約1mに達し、水が引くまで1週間前後かかることがあります。その間、全ての通行は遮断され、当サイトは同対象地域の住民にとって、同自治会中心部方面に連絡する唯一の交通経路であり、遮断された場合は孤立状態に陥ります。このような状況は、住民の日常生活や農産物の市場への出荷など経済活動に大きな影響を与えるため、年間を通して安全に通行できる鉄筋コンクリート製の橋梁の設置が求められています。



本計画は、前述の地区において1橋梁を建設することにより、安全な交通を確保し、地域住民の生活環境の向上に貢献しようとするものです。

署名式

